

この夏季
コロナ禍でも
ひと工夫

オフィスでも省エネに 取り組ましましょう

コロナ禍でのオフィスや車の中でできる、省エネへの具体的な取り組みをご紹介します。

テレワークなどで人が少ないオフィスでできる省エネ対策

OA機器 (PC, コピー機)



- コピー機など、長時間使用しない場合を想定し、スタンバイモードに設定されているかを確認しましょう。
- パソコンの「ディスプレイの電源を切る」や「PCをスリープ状態にする」の時間を短くしたり、画面の輝度を下げるなど、設定を確認しましょう。

エアコン



- 昼間の日差しをブラインドなどでカットしたり、人がいないスペースの冷房を消したり、エアコンのフィルターをこまめに清掃するなど、冷房について工夫してみましょう。
- 軽装で過ごすなどのクールビズを実践しましょう。

※1 熱中症にも注意 ※2 感染症対策のために換気は行いましょう

照明



不要な照明はこまめに消灯したり、人感センサーを活用した消灯や、思い切ってLEDに変えることも考えてみましょう。

電気ポット / 給茶機



- 温度設定を見直したり、省エネモードにするなど、設定を確認しましょう。
- 使わないときには、電源をオフにしましょう。

温水 洗浄便座



使用状況を確認し、電源をオフにしたり、温水洗浄便座の温度設定を見直したりしましょう。

移動の際の自動車のできる省エネ対策



自動車を利用する場合には、エコドライブ10のすすめを実践してみましょう。(ふんわりアクセル、減速時は早めにアクセルを離す、ムダなアイドリングはしない等)

「省エネ診断」などを活用し、省エネや節電等に関する取組を検討してみましょう。



省エネ診断

関連情報はこちら



省エネポータルサイト
「無理のない省エネ節約」
(資源エネルギー庁)



省エネルギーガイドブック
工場編・ビル編
(一般財団法人 省エネルギーセンター)

お問い合わせ

資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課

☎ 03-3501-9726

経済産業省
資源エネルギー庁

環境省